

令和7年度第3回魚沼圏域地域医療構想調整会議（書面開催） 提出意見まとめ

議題（1）紹介受診重点医療機関について

魚沼基幹病院を、令和8年度も引き続き紹介受診重点医療機関とすることを確認した。

| No | 機関名 | 役職名 氏名 | 意見 |
|----|--------|-------------|--|
| 1 | 県立松代病院 | 院長 吉嶺 文俊 | 魚沼圏域における唯一の紹介受診重点医療機関として魚沼基幹病院がその役割を担うことは極めて重要とされます。 紹介率>50%など国の基準を早期に達成するために、うおぬま米ねっとやマイナポータルなどDXを推進しながら、圏域内医療機関とのさらなる連携強化を図っていただきたいと思ひます。 |

議題（2）新潟県外来医療計画に係る医療機器の共同利用について

令和7年2月から令和8年2月までに提出された対象医療機器の共同利用計画（計5件）を確認した。

| No | 機関名 | 役職名 氏名 | 意見 |
|----|-----------------------|-------------|---|
| 1 | 新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院 | 病院長 生越 章 | 当院では内視鏡検査について共同利用できる環境を整え運用しております。 その他医療機器についても共同利用できる体制整備を引き続き進めてまいります。 |
| 2 | 県立松代病院 | 院長 吉嶺 文俊 | 64列以上のCT所有状況のアンバランスについて 魚沼基幹病院を除く64列以上のCT所有状況をみますと魚野川筋の医療機関である、小出病院、齋藤記念病院、南魚沼市民病院の3台と比較して、信濃川筋ではゼロ台というアンバランスな状況が認められます。次期更新時には両地域の医療アクセス等も考慮した整備配置等を関係者ととも検討していただきたい。 |